む ずかしいことも、
む き合う、
む くぎ太一。

自民党

む新聞 Vol.13

広島市議会議員
むくぎ 太一

PICK UP コラム
元新聞記者の視点で地域の課題をピックアップします

平和記念式典と広島サミット

平和記念式典はデモの騒音問題が長年の課題です。

77回目の夏を迎えた今年も、「静かに、心穏やかに、原爆犠牲者を悼み、感謝し、誓う」ことは叶いませんでした。犠牲者やご遺族など多くの皆様にお詫びします。

騒音問題は2010年頃からで、広島市はデモ団体に対し、音量を下げることなどを要請し続けてきました。しかし、状況は改善せず、市は2018年度に騒音に関するアンケートを実施。2019年6月には、「平和記念式典が厳粛の中で挙行されるよう協力をもとめる」決議案が全会一致で可決されます。こうした中、市と団体は2020年3月、「式典会場に向けて少なくとも10メートル離れた地点での音量が**（1）85dB（デシベル）**以下にすること」と合意します。ところが、同年の式典では、85dB超の音量が測定されました。

2021年6月、平和行政の基本理念**（2）「広島市平和推進基本条例」**が議員提案により可決・成立しました。「本市は、平和記念日に、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式を、市民の理解と協力の下に、厳粛の中で行う」（第6条2項）、「市議会は、（中略）平和の推進に関する活動を行う」（第4条）と、市と市議会の責務と役割を謳っています。しかしながら、問題解決には至らず、政策立案検討会議のメンバーとして条例案の作成に携わった者として、責任を痛感しています。

問題点は2点です。

●式典前、原爆ドーム一帯が喧噪状態に

デモ団体が座り込むなどして"占有"し、往来が阻害されています。早朝から拡声器で叫び、周囲の環境も損なっています。原爆ドーム一帯も平和記念公園であり、公共の福祉の観点からも望ましくありません。

●式典中のデモ騒音

静かな状態が損なわれ、犠牲者を悼むという式典の目的が達成しづらくなっています。また、今年は、来賓のあいさつとシュプレヒコールが重なり、聞き取りにくくなりました。あいさつの目的の一つは、恒久平和を誓うことにあります。「〇〇は帰れ」といった叫び声が会場に響くことで直接・間接的に式典は妨害され、目的が果たせない状態にあります。

式典の騒擾（そうじょう）は、広島市だけの問題ではありません。今月、安倍晋三・元首相の国葬儀が予定されています。会場となる日本武道館周辺でも同じことが起こりえます。2023年5月には、**（3）広島サミット**が開催されます。要人警護という観点からも、この問題を切実にみていただけたらと思います。

平和記念式典で平和宣言を読む松井一實市長

（1）～（3）はP4のQ&Aで解説しています。

Q&A

広島市政に関連する質問にむくぎ太一がお答えします。

Q.1 「85dB（デシベル）」はどのくらいの騒音ですか？

音量の目安は、走行中の電車内やパチンコ店内が80dB、カラオケ店内が90dB、電車通過時のガード下が100dBです。なお、90dB以上では会話はほぼ成り立ちません。85ｄBは、広島県の「拡声器による暴騒音規制条例」の規制基準などを参考にしています。

Q.2 「広島市平和推進基本条例」とは何ですか？

平和の推進に関する広島市の責務と市議会・市民の役割を明文化したものです。平和に関する施策を総合的、継続的に推進し、核兵器廃絶と恒久平和に寄与することを目的としています。広島市議会初の議員提案による条例で、2021年6月に成立しました。

Q.3 広島サミットの概要を教えてください

2023年5月19～21日に広島市で開催予定の主要国首脳会議です。日本や米国、ドイツなど主要７か国（Ｇ７）と欧州理事会議長、欧州委員会委員長が参加します。また、全国で財務や環境などの関連会合も開かれます。日本開催は、2016年の伊勢志摩サミット以来7回目となります。

Q.4 都市計画道路とは何ですか？

都市計画法に基づき、計画決定された道路です。都市の骨格を形成するため、最も基幹となるインフラの一つです。安佐南区内には、西原山本線のほか、「長束八木」「川の内」「中筋温品」などがあります。用地買収などが必要で、完成まで長い年月を要します。

Q.5 JR下祇園駅自由通路等の整備について教えてください

下祇園駅の東西をつなぐ自由通路や西口駅舎、ホームの新設といった駅関連整備と、西口駅前広場、周辺道路拡幅といった駅西側の諸整備です。自由通路や新駅舎は2024年度末、駅前広場は25年度半ばに利用開始予定で、26年度末に整備が完了します。※詳細は次号（vol.14）でお伝えします。

Q.6 「8・20広島土砂災害」の被害状況などを教えてください

77人（関連死含む）が犠牲となりました。建物は、全・半壊、浸水など含め5000棟ほど被災しました。安佐南区では8月20日未明に、1時間雨量で最大87ミリを計測しています。太平洋から湿った空気が流れ込んだこと、線状降水帯の発生が激烈な雨につながったとみられています。

むくぎ 太一事務所
〒731-0138 広島市安佐南区祇園1丁目4-5
TEL（082）846-5450 / FAX（082）846-5451

市議会総務副委員長に就任しました

市議会総務委員会の副委員長に任命されました。総務委員会は、図書館移転や平和記念式典、地域コミュニティ再生、防災・減災など、多岐にわたるテーマを扱います。広島市や市民の将来に関わる案件を担う重責を胸に立ち向かいます。

【公式 HP】　【Facebook】　【Instagram】　【Twitter】

■ 公式HPの活動報告から会報誌をダウンロードしてお読みいただけます。
この市政報告は、自由民主党・市民クラブの承認を得て発行しています。

プロフィール
椋木　太一（むくぎ たいち）
1975年（昭和50年）7月28日生　広島市安佐南区出身
元読売新聞記者　自由民主党安佐南支部長
広島県立安古市高校、早稲田大学政治経済学部卒業
安心社会づくり対策特別委員会、市議会総務副委員長

5つの政策

私は、5つの政策を打ち出して選挙に臨みました。これは、「4年間の任期で一定の成果を挙げます」と有権者の皆様と約束したことです。

- □ 1. **子育て支援・人材育成**
- ☑ 2. **道路などのインフラ整備を推進**
- ☑ 3. **防災・減災**
- □ 4. **「カラーバリアフリー」の推進**
- □ 5. **広島市政改革・メディア戦略**

※☑は今回のテーマとしている政策です。

(4)～(6)はP4のQ&Aで解説しています。

広島市を南北に貫く国道183号は、安佐南区内で発生する渋滞が積年の課題となっています。特に、古市地区から南に向かう祇園大橋の間は、朝のピーク時（7～8時）に激しさを増します。道路は市民生活を支えるインフラです。広島市は、この区間の渋滞緩和策を打ち出しました。

渋滞緩和策の3本柱

①国道183号の3車線化

（西原1丁目交差点～大宮3丁目交差点間の横川方向で）

②国道183号に接続する東西方向の道路整備

③都市計画道路「長束八木線」と「長束線」の計画見直し

それぞれ説明します。

①国道183号の3車線化

（西原1丁目交差点～大宮3丁目交差点間の横川方向で）

まず現状です。西原1丁目交差点は、西側に位置する山本、春日野の両地区に向けて延びる「西原山本線」と、国道183号の合流点で主要な渋滞ポイントとなっています。

この交差点は、国道183号の横川方向には右折専用レーンがない上、朝は残りの1車線がバスレーンとなります。そのため、右折車により後続車が進路を阻まれ、渋滞が発生しているのです。こうした交差点の構造的な問題を解消するため、同交差点から祇園大橋南詰の大宮3丁目交差点（西区）まで、1.1キロを3車線化します。第1期として、❶西原1丁目交差点から長束2丁目交差点間の3車線化❷西原1丁目交差点の右折専用レーン新設に取り組みます。第1期は2026年度の完成を目指しており、今年度は測量、用地取得などを行っています。

また、西原1丁目交差点では、西原山本線（国道183号向き）の渋滞も深刻です。山本、春日野両地区の人口増加などで交通量が増えているためです。現在、同交差点は横川方向への右折車線が1つだけですが、国道183号の3車線化の状況を踏まえ、2車線とも右折可能にすることを検討します。

②国道183号に接続する東西方向の道路整備

JR下祇園駅北側の「祇園踏切」から国道183号の「西原5丁目（南）交差点」付近まで、東西400メートルあまりを結ぶ道路の整備です。この区間は、「西原山本線」の一部として計画決定していますが、長年、未着手のままです。

(5)JR下祇園駅自由通路等の整備の一環で、西原山本線は祇園踏切以西が2026年度完成を目指して整備が始まります。また、「西原5丁目（南）交差点」以東は整備が完了して祇園新道と接続しています。つまり、2026年度以降、西原山本線は、祇園4丁目周辺から東方向の部分においては、祇園踏切から「西原5丁目（南）交差点」の区間のみが未着工となるのです。

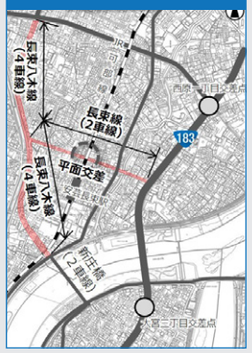
この一帯は、人口増加などで歩行者、交通量ともに増えています。西原山本線の効果を最大限に高め、歩行者の安全性を確保するには、この区間の着手が必要なのです。昨年10月の決算特別委員会で、この件について質疑し、同じ趣旨の答弁がなされました。そして、今年度、広島市の文書に初めて「整備」という形で記載されました。JR下祇園駅西側の「西原山本線に引き続き、整備に取り組む」ということで、今後に向けた調査研究が進んでいきます。

③都市計画道路「長束八木線」と「長束線」の計画見直し

現計画では、「長束八木線」は安佐南区長束3丁目（新庄橋のたもと）から同区八木6丁目交差点を結ぶ4車線です。また、「長束線」は、長束集会所南側（長束5丁目）で長束八木線から分岐して西へ延び、JR可部線に平面で交差して西進し、国道183号と接続する2車線の道路となっています。

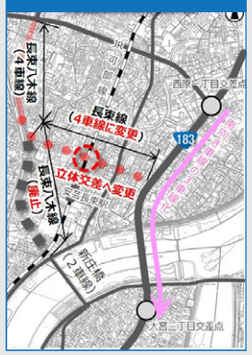
ところが、長束八木線が4車線にも関わらず、新庄橋とその先の横川方向への道路は2車線で、橋の架け替えや車線増設計画もありません。そのため、長束八木線が現計画通りに長束3丁目まで延伸しても、八木方面からの車両がスムーズに通行できる見込みが低いのが現状です。

現計画



▼▲広島市HPより

見直し方針（案）

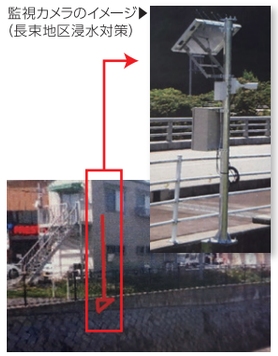


交通量は増えており、渋滞緩和へのニーズはひっ迫しています。国道183号の一部3車線化が決まったことから、長束八木線と長束線の計画を見直し、現実的な緩和策を検討してきました。結果、見直し案として、❶長束八木線のルートの一部廃止❷長束線の4車線化❸JR可部線を立体交差とする、の3点の変更を打ち出しました。これにより、長束八木線は長束線を経由して国道183号と接続し、八木から祇園大橋まで1本のルートとして再構築します。山本以北からの車両が東（西原1丁目）と南（長束5丁目）へ分散し、祇園・西原・山本地区の慢性的な渋滞緩和も期待されます。

広島市は現在、見直し案の住民説明を重ね、丁寧な合意形成を図っています。

安佐南区長束地区浸水対策 水量監視カメラ設置へ

長束地区の浸水対策の一環で、新安川に架かる新芦田屋橋付近に、監視カメラが1基設置されます。水量をネットなどで24時間監視でき、早めの避難準備が期待できます。



監視カメラを設置する新安川の新芦田屋橋（長束地区浸水対策）

同地区は昨年8月の長雨で浸水被害に遭いました。JR安芸長束駅前の道路は冠水し、祇園消防団が出動したほどです。想定を超えた長雨で太田川の水位が上昇したため、太田川に注ぐ新安川の水が押し返されて、排水管を逆流して地上にあふれ出たとみられています（「バックウォーター（背水）」）。監視カメラは流水能力を向上させるものではありませんが、水量チェックにより、人的・物的被害の抑制は期待できます。なお、カメラ設置は、広島市の働きかけなどで実現しました。今後も防災・減災対策を促進していきます。

8・20広島土砂災害 発生から8年 追悼献花

77人が犠牲となった**(6)「8・20広島土砂災害」**は発生から8年となりました。被災地の安佐南、安佐北の両区役所と佐東出張所では、犠牲者を悼む献花台が設置されました。当日、安佐南区役所と佐東出張所で献花いたしました。

「8・20広島土砂災害」の追悼献花をするむくぎ太一（手前）